

令和元年 11 月 13 日  
予 報 部

## 新しい雪の情報の提供を開始します

11月13日16時から、現在の積雪・降雪の分布を推定する新しい雪の情報の提供を開始します。また今冬から、大雪の際に各地の气象台が発表する気象情報において、3日先までの降雪量予測を提供する他、短時間に記録的な大雪があった際には一層の警戒を呼びかけます。

平成30年1月の首都圏での大雪や2月の北陸地方での大雪など、近年、集中的・記録的な降雪が発生し、大規模な車両渋滞・滞留を引き起こすなど、社会活動への影響が問題となっています。気象庁はこの状況を踏まえ、今冬に向けて以下の取組を進めます。それぞれの取組の詳細は別紙をご覧ください。

### 1. 「現在の雪」(解析積雪深・解析降雪量)の提供

アメダスの積雪計による観測値に加え、現在の積雪の深さと降雪量の分布を推定する「解析積雪深・解析降雪量(かいせきせきせつしん・かいせきこうせつりょう)」の提供を、令和元年11月13日(水)16時より、気象庁ホームページ(<https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/snow/jp/>)で開始します。

これにより、雪の観測が行われていない地域を含めて積雪・降雪の分布を把握できるようになり、外出予定の変更や迂回経路の選択等に利用できます。

### 2. 3日先までの降雪量予測の提供

冬型の気圧配置により日本海側で数日間降雪が持続するようなときなど、降雪量について精度良く予測が可能な場合には、府県気象情報等に「48時間先からの24時間予想降雪量」を記述します。

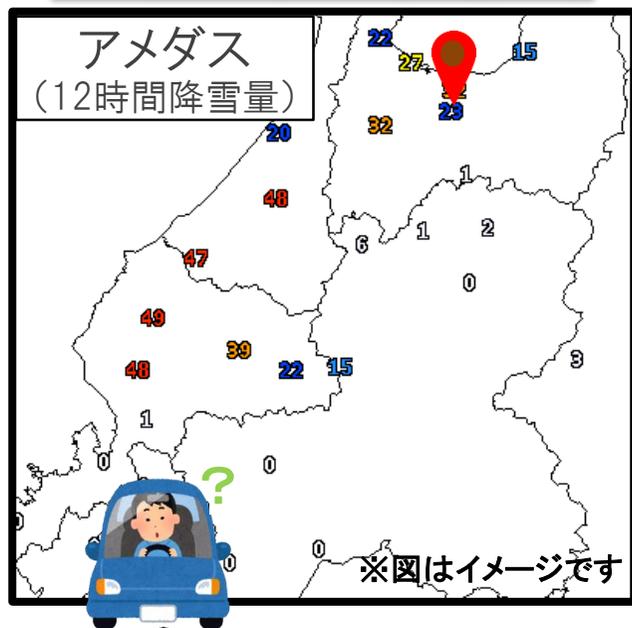
### 3. 短時間の大雪に対する一層の警戒を呼びかけ

山形県、福島県(会津地方)、新潟県、富山県、石川県、福井県において、顕著な降雪が観測され、今後も継続すると見込まれる場合には、「短時間の大雪に対して一層の警戒を呼びかける情報」を発表します。

問合せ先：予報部 予報課 気象防災推進室 高橋  
電話 03-3212-8341 (内線 3126) FAX 03-3211-8303

- 「現在の雪」ページでは、積雪・降雪が多くなっている**地域を把握**できます。
- 「現在の雪」ページでは、雪の状況を**道路・鉄道等の地図情報と重ね合わせて**見ることができます。
- 外出前に「現在の雪」ページと、交通情報や観光地の情報を合わせて確認することで、目的地までの**経路の変更**や除雪などの**交通障害への備え**、**観光の計画**等様々な活用いただけます。

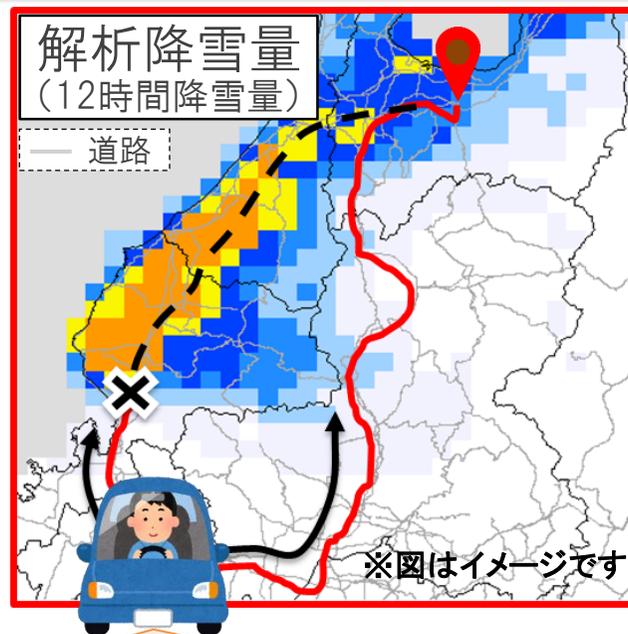
## 提供開始前



ニュースで大雪だと言っていたけど、出かけないといけない。どこの道路を通るのがいいんだろう？

令和元年  
11月13日  
提供開始

## 提供開始後（解析降雪量の利用例）



海寄りの地域で降雪量が多くなっているようだから、内陸の道路を通ろう！

【利用上の留意点】解析積雪深・解析降雪量は約5km四方の格子内の平均的な値であるため、格子ひとつひとつの値を直接的に利用するのではなく、上図の例のように積雪・降雪のおおまかな分布を把握するために利用してください。

# 3日先までの降雪量予測の提供

これまで気象情報等では、「24時間予想降雪量」、「24時間先からの24時間予想降雪量」を記述



冬型の気圧配置により日本海側で数日間降雪が持続するようなときなど、精度良く予測が可能な大雪の場合には、社会的影響の軽減や関係機関の防災活動に資するため、今降雪期より「**48時間先からの24時間予想降雪量**」を記述します。

## 府県気象情報での記述例

1日〇〇時までの24時間に予想される降雪量は、いずれも多いところで、

〇〇地域 \*\*センチ

△△地域 \*\*センチ

その後、2日〇〇時までの24時間に予想される降雪量は、いずれも多いところで、

〇〇地域 \*\*センチ から\*\*センチ

△△地域 \*\*センチ から\*\*センチ

**上空の寒気が持続する場合には、3日にかけて降雪量がさらに増えるおそれがあります。**

3日〇〇時までの24時間に予想される降雪量は、いずれも多いところで、

**〇〇地域 \*\*センチ から\*\*センチ**

**△△地域 \*\*センチ から\*\*センチ**

の見込みです。

**大雪の要因と48時間先からの24時間予想降雪量を記述。**

※5日先までの警報級の現象が発生する可能性を示す「早期注意情報」と合わせた活用が有効です。

# 短時間の大雪に対する一層の警戒を呼びかけ

- 気象庁では、防災関係機関からの意見や各官署での分析を踏まえ、平成30年12月から「大雪に対して一層の警戒を呼びかける情報」を発表し、また都道府県や市町村等への支援を強化しています。
- 今冬から、「**短時間の大雪に対して一層の警戒を呼びかける情報**」を、山形県、福島県（会津地方）、新潟県、富山県、石川県、福井県で実施します。

## 大雪に対して一層の警戒を呼びかける情報

### 発表タイミング：

社会的に大きな影響を及ぼした大雪事例等をもとに設定した基準を用い、**今後の大雪が見込まれる場合**に発表（対応検討に必要な時間を確保）

（例）大雪警報基準（23区で12時間10cm）を超える降雪量の予想があり、基準を超えた後も更に降り続く場合（東京都）

（例）地域防災計画で定められている警戒積雪深（福井で90cm）を超過する予想があり、その後大雪警報基準（福井で12時間30cm）を超える予想の場合（北陸地方）

### 発表方法：

府県気象情報において、**災害の危険性がイメージ**できる表現を用い、影響を受ける地区と時間をできるだけ絞って発表

## 気象解説の強化

- ・ 都道府県や市町村等の防災対応を支援するきめ細かな解説の充実

## 短時間の大雪に対して一層の警戒を呼びかける情報

### 発表タイミング：

**顕著な降雪が観測され今後も継続する見込み**の場合に発表

### 発表方法：

府県気象情報において、**見出しのみの文章（短文形式）**からなる情報により速やかに発表

## 府県気象情報での記述例

顕著な大雪に関する××県気象情報 第○号  
令和元年××月××日△△時△△分 ○○地方気象台発表

○○市○○で○日○時までの○時間で○○センチの**顕著な降雪**を観測しました。この強い雪は○日昼過ぎにかけて続く見込みです。○○の平地では、**大規模な交通障害の発生するおそれが高まっています**。

昨冬から実施

今冬から  
山形県、福島県（会津地方）、新潟県、富山県、  
石川県、福井県で実施！！